

萩の郷

No. 116

2023.11.15発行

発行者：下市田区

発行責任者：北沢文治

印刷：龍共印刷株式会社



萩の郷夏祭り盛大に

芝生広場での開催は6年ぶり

下市田区は7月29日、区民広場で「萩の郷夏祭り」を開催しました。新型コロナウイルス感染症対策で令和2～4年は中止したため4年ぶりの開催。また令和元年は台風接近で屋内開催、その前の平成30年は台風で中止したため、芝生広場での開催は6年ぶりでした。会場での飲食も解禁し、夏祭り復活を待ちわびていた区民などでおおいに賑わいました。

前半は下市田保育園など子どもたちのダンスで、吉田河原保育園は「認定こども園ぽどま」にかわって初めての参加となりました。後半はプログラムの一部を見直し、各自治会の踊りの発表をやめた代わりに、高森ニューサウンスなど3団体が新たに参加しました。

中央に舞台を組むこともやめ、大型トラックの荷台をステージとして使用。また駐車場対策として初めて一部の参加者向けにシャトルバスを運行しました。

お楽しみコーナーには各区青年会などの食べ物、飲み物、ゲームの屋台が並び、終始人だかりが絶えない大盛況でした。

最後に抽選会を行い、幕を閉じました。「にぎやかにできて良かった」と喜ぶ声が多く聞かれました。

(7面にフォト掲載)





下市田河原のJRリニアガイドウェイ作業所

10月を迎え令和5年度も半分が過ぎました。区の三役も慣れないなか区民の皆様のご協力により、区の運営を進めることが出来、御礼を申し上げます。

さて7月29日には4年ぶりに「萩の郷夏祭り」を開催することが出来ました。今までは形を変え、コロナ禍ではありましたが、多くの区民の皆様にご参加いただき、盛大に出来たことに感謝申し上げます。

区の情勢について JRガイドウェイ製作始まる

区長 北沢文治

10月15日に開催を予定していた敬老祭については、残念ですが8月からコロナ感染者が増加し、参加者が高齢者であることを考え、中止としました。ただし、区ではことし米寿を迎えられた皆様と90歳以上の皆様には長寿祝いとして記念品を贈呈します。

令和5年度の地区計画の事業では、交通安全関係でカーブミラーの新増設・移設など要望のあった7か所の工事が完了。消防防災関係では4か所の消火栓格納箱の交換、ホースの更新12本など、格納箱新設の1か所を除き工事が完了しました。4区の火の見櫓の撤去、防犯灯の新設については今後実施予定です。

下市田河原ではJR東海のリニアガイドウェイの製作が、高さ3メートルの白い塀の中で始まり、リニア新幹線の早期開通を思わず期待してしまします。

9月には町の総合防災訓練、また下市田区の防災研修会を人数制限で行いました。改めて区民の皆様の防災に対する意識を高めていただきたいと思います。

今後は下市田保育園の改修、来年度の地区計画の策定について進めて参ります。

備品監査と 中間決算監査

監査委員長 福沢嘉言

下市田区、公民館下市田支館、萩山神社、林務委員会の備品監査を8月26日に、中間決算監査を10月20日に実施しました。いずれも適正に管理、処理されていました。



中間決算監査

令和5年度 公民館下市田支館中間決算 (令和5年4月1日～令和5年9月30日)

収入額 3,715,769円
支出額 1,980,834円
差引残高 1,734,935円

【収入の部】

(単位：円、▲は減)

科目	予算額	既収入額	比較増減
繰越金	2,304,757	2,304,757	0
繰入金	1,500,000	1,000,000	▲ 500,000
補助金	400,000	408,000	8,000
雑収入	1,000	3,012	2,012
収入合計	4,205,757	3,715,769	▲ 489,988

【支出の部】

(単位：円、▲は減)

科目	予算額	既支出額	比較増減
総務費	1,940,000	615,220	▲ 1,324,780
事業費	1,960,000	1,365,614	▲ 594,386
広報費	11,000	0	▲ 11,000
予備費	294,757	0	▲ 294,757
支出合計	4,205,757	1,980,834	▲ 2,224,923

令和5年度 下市田区一般会計中間決算 (令和5年4月1日～令和5年9月30日)

収入額 19,630,043円
支出額 7,932,319円
差引残高 11,697,724円

【収入の部】

(単位：円、▲は減)

科目	予算額	既収入額	比較増減
前期繰越金	8,596,147	8,596,147	0
区費	14,690,000	7,425,890	▲ 7,264,110
町支出金	7,067,000	2,322,350	▲ 4,744,650
財産収入	1,038,000	663,502	▲ 374,498
地元負担金	147,000	0	▲ 147,000
消防義務金	1,450,000	570,000	▲ 880,000
諸収入金	663,000	52,154	▲ 610,846
繰入金	0	0	0
収入合計	33,651,147	19,630,043	▲ 14,021,104

【支出の部】

(単位：円、▲は減)

科目	予算額	既支出額	比較増減
総務費	13,027,000	3,519,347	▲ 9,507,653
環境衛生費	570,000	0	▲ 570,000
林務費	800,000	176,725	▲ 623,275
土木費	330,000	0	▲ 330,000
水利費	6,380,000	1,542,577	▲ 4,837,423
防災費	2,133,000	1,280,370	▲ 852,630
公民館費	1,500,000	1,000,000	▲ 500,000
予備費	8,911,147	413,300	▲ 8,497,847
繰出金	0	0	0
支出合計	33,651,147	7,932,319	▲ 25,718,828

全住民が利用する道路や水路、交通安全施設等で地元負担金を必要とされる地区計画があります。区費や自治会費から支払われます

が、未加入世帯が40%にもなる中で疑問に感じます。町に地元負担について見直しを要望するのを感じました。

防災訓練、タイムライン作成 Aゾーン緊急連絡網確立を

副区長 光沢 金良

今年は思いもしないほどの暑い長い夏で、台風などの影響もあつて今までと違うような災害も各地で発生しました。地球温暖化に伴う気候変動の深刻な影響をこの先も感じさせます。

今年も9月3日の日曜日に全町一斉防災訓練が行われました。朝6時の「発災」から各地区ごとに避難を開始し、安否確認・集計を行い、7時9分には町の対策本部に集計報告を完了しました。総世帯数937

(未加入世帯を含む)、避難者数1370人、無事確認1672人、未確認29人、計3071人でした。各地区ごと多くの皆様のご参加ありがとうございました。

これに先立って、今年は町より「タイムライン」の初期作成指導がありました。「タイムライン」とは、災害の状況時系列にに応じて、「いつ・だれが・何をするか」を整理した防災行

動計画です。各自治会ごとに工夫して独自のタイムラインができました。

区としまして、各地区に危険・緊急度をABCゾーニングしていただき、特にAゾーン対応を想定した全体の緊急連絡網の確立と、「安心カード」等の各御家庭の救援情報カードの検討をお願いしました。各自治会それぞれの状況に応じて、まずまた一歩の成果です。

これから発生するなどのよ

防災研修会でクロスロード

災害時あなたはどの行動？

防災委員長 仲平 豊実

9月16日に区民会館で令和5年度第1回防災研修会を開催しました。コロナ感染症防止のため参加者を限定しましたが、区の関係役職者、常会長など55人が参加しました。

長野県に出前講座を依頼

うな災害に対しても、まず「自分の命を守る」こと。次に「家族」「隣近所のつながり(共助)」であり、それが区や自治会の存在価値です。今回の成果を元に、更に日々の防災のために取り組んでいきたいと思っています。



消火栓の放水を実演(2区の防災訓練)

を持ち、さまざまな災害の場面を想定し判断を行いました。

例えば「あなたは3歳の女の子を連れた主婦です。雨がひどく不安なため、近くの小学校に子供を連れて避難することにしました。が、ご近所にいる寝たきりのお年寄りが気になり、一緒に避難しますか？」という問題が出されます。

私のグループでは全員が「No」。みなさんの意見は「避難所に子どもを預け、その後声をかけを行う」、「親子で避難所に避難し、他の方にお年寄りの家に向かったらう」などでした。

講師からは「寝たきりの方を1人で運べますか？」



各グループでまとめた考えを発表

また一般の避難所に対応できますか？」と考えなければいけないポイントが示され、このような特別な配慮が必要な方のためには個別避難計画と福祉避難所が必要で、それらをまとめた「災害時住民支え合いマップ」を地域で作っておくことが望ましいという解説がありました。

他の参加者の意見を聞き、様々な考え方を共有することで、災害時に応用が可能になる素晴らしい研修会でした。

共同募金助成で 区に高圧洗浄機

赤い羽根共同募金の助成で、このほど高森町社協から各区に高圧洗浄機が1台ずつ配布されました。区民会館に保管しています。

災害復旧で泥や汚れを洗い流す作業が必要になった場合などに使用することを想定しています。



高圧洗浄機

交流の場を大切に

各分館の事業再開

2区分館

4年ぶり納涼祭

分館長 蜂谷昌幸

2区では5月に昨年度の延期分「笑顔を増やそうプロジェクト2」を、6月には「常会対抗ペタンク大会」、そして7月に4年ぶりとなる「下2納涼祭」を多くの皆様のご協力で無事おこなうことができました。たくさんの方々の笑顔と、あ

ちらこちらで弾む楽しそうな声に、あらためてみんなが集う場の大切さを実感しました。

行事を支えてくれる役員の方々は、自分の仕事や家庭の事情をもちながら協力してくれています。今後この大切な集いの場を続けていくために、「みんなが楽しみ、役員の負担も少ない方法を探っていきたい」と考えています。



毎回参加の高森ニューサウンズ



ダンスに合わせて踊る子どもたちも

3区分館

軽スポーツ&防災

分館長 坂牧博夫

6月25日、今年度初の分館行事「軽スポーツの集い&ちよつと防災」を区民会館で4年ぶりに開催しました。大人48人、子供24人、合計72人と大勢の方の参加で大変盛り上がりしました。

軽スポーツは囲碁ボール、室内ペタンク、輪投げをしました。お子さんとお年寄りが一緒のチームを作り、ゲームを楽しみました。ちよつと防災では屋外でレンガストープを作り、焼きマシユマロを食べたり、お湯を沸かしてコーヒーを



にぎわう食べ物屋台

1区分館

親子ウォーキング

分館長 山本智治

1区では5月に親子ふれあいウォーキングを開催しました。7家族15人が参加し、積善会館をスタートして南小学校、歴史民俗資料館「時の駅」、役場を経由し、中央公園で遊んで積善会館に帰ってくるコースを

巡りました。各チェックポイントでは、クイズを解いたり、桜の木の本数を数えたりしました。「時の駅」では、クイズの他に、富本銭のスケッチに挑戦したりしました。子どもたちは本当に真剣に取り組んでくれ、最後に「楽しかった」と言ってもらえて、開催できて良かったですと心から思いました。

た新聞スリッパを全員で作りました。特に子供たちはとても夢中になり、何足も作っていました。

今回の行事で、つながりの大切さと、いざという時の知識を知り、防災の備えの大切さを感じました。



囲碁ボールで世代間交流



水消火器で消火訓練

4区分館

スポーツ&焼肉

分館長 玉置淳一

コロナ禍の影響で自粛続きの分館の行事でしたが、5類への移行を受け、4年ぶりに4区のスポーツ大会を6月25日に開催しました。種目はスローピッチフットボールと屋内でのボッチャでした。

以前は町のスポーツ大会の練習を兼ねた催しとして、選手を委嘱して行っていました。今回からは希

望者のみの参加で行いました。ソフトボールには23人、ボッチャには12人の参加が



スポーツ大会&焼き肉親睦会

あり、2時間ほど、暑い日でしたが楽しく交流できました。

その後の4区生活センターでの焼き肉親睦会では、スポーツ大会に参加できなかった方も加わり、40人を超える参加者で鉄板を囲み、閉会後もなかなか話が尽きずという状況でした。

久しぶりということもありましたが、ご近所の交流の良さを感じた会となりました。

5区分館

おいお茶だに

分館長 小川喜也

5区では6月18日に「おい、お茶だに」を開催しました。コロナが5類に移行したことで、お年寄りから小学生まで65人という大勢の方の参加がありました。

5区は今年度、萩山神社春祭りの獅子曳き子どもの当番自治会なので、PRを兼ねて神社と保存会のご協力で祝いの獅子の舞に始ま

り、前回の獅子曳きのDVDを皆さんに観て頂きました。

また今回は各団体の参加で、おいしいよの会の健康体操、五んべい倶楽部のそば打ち、双葉会の屋台と会場は賑やかな雰囲気につつまれました。さらに小学校PTAにもお願いして、多くの小学生がエレクトーンの伴奏に合わせて、お年寄りと一緒に大きな声で歌ってくれました。

残念なのは懇親会を避け折詰を持ち帰ってもらった



そば打ちを体験

ことで、次回は飲食しながらの親睦会にしたいと思っています。

6区分館

家族でマレット

分館長 中垣裕彦

5月21日、6区分館主催の親睦マレットゴルフ大会を開催しました。今回は従来までの常会対抗ではなく、試行的に完全個人戦のみとしましたが、久々の開催を待ちわびた大勢の自治会員の参加の下、熱戦が繰り広げられました。

また今回は子供の部を設けてご家族お揃いで参加できるようにしたため、会場のあちらこちらではお子さんの元気な声が聞かれ、改めて、こういった親睦行事の大切さを実感することが



親子でマレットゴルフ

できました。

少子高齢化が進む中、こうした親睦行事を開催するについても、極力参加しやすいような様々な工夫が求められてきています。今回のような限られた機会を通じて、自治会員相互の「顔」が見え、「心」が通じ合い、小さい自治会ながらも団結力が深まるような行事を今後にも企画運営していきたいと感じました。

地域の方々と
たくさん交流

高森中2年 原 海広

この前行われたマレットゴルフ大会では、出砂原地区のみなさんとたくさん交流ができました。

暑い中でのマレットゴルフ大会でしたが、自分は父親と力を合わせてマレットゴルフに取り組みました。

自分はマレットゴルフをするのが人生で2回目だったので、ミスなどをして父親に迷惑をかけて少々苦戦しましたが、子どもの部で準優勝を取り、地域の方々とも多く交流することができたのでよかったです。



春季大祭に続き小学生6人が優雅に「浦安の舞」

ゆかしき萩山神社の御射山祭(高森町指定無形文化財)の神事を行っています。さらに本祭では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためできなかった浦安の舞を4年ぶりに、各地区推薦の舞姫6人に春の大祭に続き扇舞と鈴舞を優雅に美しく奉納していただきました。

萩山神社の秋季大祭 浦安の舞 優雅に美しく奉納

氏子総代長 唐澤 恒人

萩山神社の令和5年度秋季大祭が9月9日と10日、季節外れの暑さの中、関係の皆様にご臨席いただき、実りの秋を迎えられたことに感謝し、萩の郷の益々の発展、安寧、無病息災を祈

願し執り行われました。毎年、夕祭に先立ち、市田柿工房の隣の台地に、スキで壁を覆い屋根を葺いた1メートル四方の仮屋を建て、諏訪大社の大祭として古来より伝わる狩猟神事に倣って古式



下市田区主催の忠魂祭も

した。

当番常会長の方には準備から片付けまでありがとうございます。ございました。

なお下市田区主催の忠魂祭も今年は秋季大祭に合わせ行われました。

倒木の危険考慮 荒神社樹木伐採

荒神社の境内には古い大木が十数本ありました。こは住宅地に囲まれているため倒木により民家を直撃する危険があり、根が張り過ぎていて石段・石垣を崩す危険があり、スギ花粉が飛び交い健康上の問題があり、また私事です。萩山神社の管理上、落ち葉片付け

傾いた木もある伐採前の様子



大きな空洞のできた木も



その後、8月20日に宮司様に伐採木のお祓いをしていただき、8月26日から30日に業者に伐採していただ



上部から少しずつカット

が総代の重労働となつているなど、以前から総代会で伐採の検討をしてきました。何とか予算を捻出するこ

きました。ちなみに安養寺の守護神である荒神社は大正2年に萩山神社に合祀されていま

100回目の節目 市田灯籠流し

6区自治会長 福島文雄

大正末期から始まった伝統の市田灯籠流しが今年100回目の節目を迎えることとなりました。この3年間コロナ禍にて小規模に運営されてきましたが、今年度から大煙火大会は高森町観光協会が主体となり、その中に灯籠流し川施餓鬼法要を実施する出砂原自治会も加わる体制が始まりました。あわせて経験豊富な出砂原自治会の先輩諸氏の指導や助言を受け、準備を進めました。

例年、明神橋下から流す方法でしたが、6月2日の大雨により天竜川本流の流れが大きく変わってしまったため、灯籠を流す場所をどこにするのか天竜川を見ては考える日が続きました。

当日は晴天に恵まれ、川施餓鬼法要は明神橋下に祭壇を設け、参列者100人余が見守る中、仏教会住職による読経が流れ、新盆を迎えた御霊の供養が行われました。灯籠を河川敷の水辺に浮かべることで次第に明かりがあふれ、そこに集まった皆さんがしっかりと見守ってくれました。

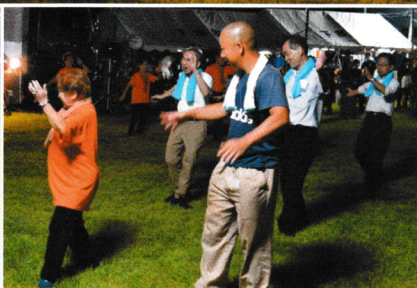
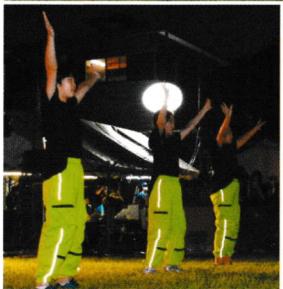
大煙火大会も盛大に行われ大成功でした。関係者の皆様、お世話になりました。



大正から続く川施餓鬼法要



川面を照らす灯籠と花火



秋の郷夏祭りフット

わたしの作文 ぼくの作文



野球もっと上手に

小5 小椋咲希(さき)1区

私は、小学校1年生で始めた野球が大好きで、5年生になった今も続けています。

私が野球を始めたきっかけは、兄が野球をしていて、私もやってみたいと思ったことです。

暑い中での練習は大変だけど、出来なかったことが出来る



ようになつたり、仲間と一緒に練習するのは楽しいです。今、頑張っていることは、ゴロ捕球の姿勢です。腰を落とすタイミングを早くすることを心がけています。

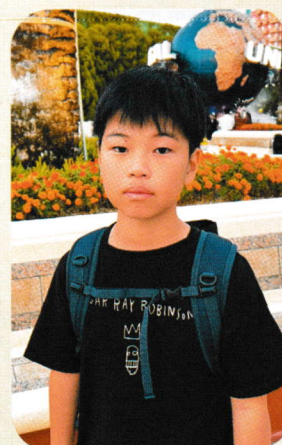
もつとうまくなりたいので、頑張ります。

バスケット難しい技も

小5 原 光琉(ひかる)6区

自分ががんばっていることはバスケットボールです。

バスケットボールは3年生のころからやっていて、今は3年目です。なかなか試合に出してもらえなくても、練習に行ける時は行ってがんばっています。



やテクニクを覚えるのが難しいので、細かいルールやテクニクを覚えられようになつていきます。

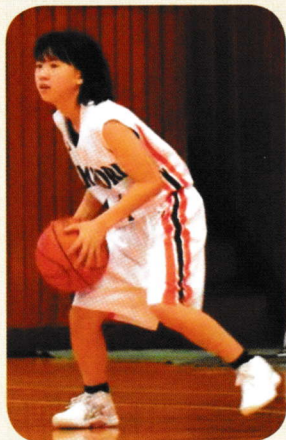
バスケットまず練習

小6 片桐のぞみ(のぞみ)2区

今、私がんばっていることはバスケットです。今年の4月から高森のミニバスに入りました。

最初のころはドリブルも

シュートも出来ませんでした。だけどコーチの話や前からやっていて人を見たり、毎回休まず練習に参加してきました。すると、だんだんドリブルは失敗す



ることが減り、シュートも決められることが増えました。また、試合の時も動けるようになったりと練習の成果が出ました。

まだまだ試合の時などシュートが決まらないことが多いので、これからもがんばります。

中学生が柿丸くん「中の人」に

萩の郷夏祭りで地域応援ボラ

7月29日に開催した下市田区の「萩の郷夏祭り」で、高森中学校地域応援ボランティアの女子生徒4人が柿丸くんの「中の人」を務めてくれました。

生徒たちは交代で柿丸くんになつて会場を回り、子どもたちは柿丸くんに抱きついたり一緒に写真を撮ったりして大喜びでした。



子どもたちに大人気の柿丸くん

編集後記

7月末に「萩の郷夏祭り」を盛大に復活開催できたのも束の間、夏にはまた新型コロナウイルス感染者が増加して県が医療警報を出す状況となり、敬老祭や各分館事業の多くが中止を余儀なくされました。アフターコロナならぬアフタコロナが続きますが、少しずつ手探りしながら日常を取り戻していきたいと思います。

次号も充実した紙面になるよう頑張っていきます。